

ロータリーを  
実践し



みんなに  
豊かな人生を

2013～2014年度 国際ロータリーのテーマ  
ロン D.バートン

RI第2510地区 留萌ロータリークラブ

# 会報

2013 ▶ 2014  
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ 会長目標 **集中と調和**

会長／中出敏彦 幹事／大嶋孝広

## プログラム

●本日

「年男大いに語るNo.2」

阿部 洋一・清水 陸 会員

配偶者誕生日

1月29日 鈴木 正枝

2月2日 辻本 順子

●次週予定

来賓卓話

留萌市長 高橋 定敏様

No. 2591

第28回 1月29日

出席報告

前例会

会員総数	41名
出免会員	8名
出免出席	6名
基準会員出席	22名
出席率	80.00%

前々々

第25回 1月8日

欠席会員	0名
内メイクアップ	0名
修正出席率	100%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F



## 会長報告

1. 私たちクラブでも後援している、オロロンスノーパラダイスプロジェクトより2月8日9日に開催されるチラシを受領しました。皆様に回覧いたします。



## 幹事報告

- ・妹背牛RCより会報今年度No.20～23号及び1月例会案内を受領。
- ・砂川RCより会報No.2122～2128号及び2月例会案内を受領。
- ・芦別RCより2月例会案内を受領。
- ・赤平RCより会報No.2571～2574号を受領。
- ・国際ロータリー第2510地区第1、第2グループの半年分の会報を回覧いたします。

## ゲスト

北海道議会議員 石塚 正寛様



## 3分間情報

会員研修委員会

阿部委員長

「ポリオ取り組みの現状」

新春早々大きなニュースがありました。知ってる方も多いと思いますが、今年1月13日、インドで3年間ポリオの新しい感染者が出なかった為、3月にも東南アジア地域にポリオ根絶宣言が出される見通しとなりました。

WHO世界保健機関では、世界を6つの地域に分け、1994年には北中南米地域、2000年には日本を含む西太平洋地域、2002年にはヨーロッパ地域に根絶宣言が出されて、これに続くこととなります。感染者0が1年続くと、ポリオ常

在国のリストから外れ、3年続くと根絶宣言が出されます。

今から5年前の2009年、世界全体の感染者の半分以上がインドにいました。自国のメディアをして「ポリオの根絶はインドが最後になる」と言わしめていたこの国で、根絶宣言まであと少しまで来ている事は今後の活動に勇気を与えることになるのではないのでしょうか。

時間がかかるだろうと予想していたのは、感染者の数もありますが、保守的な習慣や貧困が残る社会の事情、予防接種のスタッフが各地を訪問するのが非常に難しいというのがその主な理由でした。

それに対して、2011年の1年間に約9億人分の経口ポリオワクチンが8500人の保健スタッフなどの手によって投与されました。また、最も感染リスクが高い地域に住む7000万人にもなる子供達をはじめ、総計で1億7000万人を超える5歳未満の子供達が、さらに数回にわたって予防接種を受けました。こうして、努力を数字にするとその真剣度がお分かりいただけると思います。

ユニセフのアンソニー・レーク事務総長は、「インドの成功は、最も困難な状況にあっても、ポリオの根絶は可能だということを証明しました」と語っております。

ポリオ常在国は現在、パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの3カ国となります。ナイジェリア国内の一部ではワクチンへの不信感が見られ、ワクチン接種率向上が課題となっております。インドの成果が良い影響をもたらす事を期待したいところです。アフガニスタンとパキスタンに関しては、紛争解決なしにはスタッフの活動に危険が伴い、対策が進まない状況です。

常在国の周辺国でも感染者が発見されている事や、終わりの見えない紛争のため、最後の一步が進まない中、インドの快挙は非常に大きな出来事だと思ったので、全体の状況を含め発信させていただきました。

## ニコニコBOX .....

- 入院中は大変ご心配おかけました。また、クラブよりお見舞いありがとうございました。  
中川会員
- 新聞に載りました。  
清水会員
- テレビにちょっと映りました。  
堀会員
- 1月16日被選理事会並びにクラブ協議会を開催、ご出席いただいた会員さんありがとうございました。  
森(俊)会員

前 回	542,000円
今 回	26,000円
累 計	568,000円

## プログラム .....

「北海道の課題について」

北海道議会議員 石塚 正寛様

### 1 留萌港からの木材輸出戦略

留萌港の利活用—留萌の持続的な経済活動としては必須

- 12月19日、韓国への輸出が実現—ただし苦小牧港から  
寧楽から産出された道有林のとど松の間伐材—30m<sup>3</sup> (131本)
- この話が来たとき、売り先が決まっていたため30m<sup>3</sup>しか集まらなかった。
- 留萌港から単独でバルク船を使って輸出することはできなかった。

### その経緯と今後の展望について

◆留萌港からの原木輸出を目指した理由

北海道から海外への輸出戦略を検討する場として勉強会を立ち上げたのは、今から2年以上前。実は、これは留萌港からの輸出戦略を勉強する会。

この勉強会は、私と道庁国際経済室の職員、そしてこのテーマに関心のある数名の方々でスタート。現在では、留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市役所だけではなく北海道開発局や寒

地土木研究所、国際ビジネスセンター、寒地港湾技術センターといった「国際貿易の専門家」の方々の参加により定期的に開催。

この勉強会は、全員留萌の応援団を自認する方々の集まり。勉強会終了後は必ず「懇親会」を開催。さまざまな立場の方々が幅広く交流する楽しく魅力的な場。

当時この勉強会では、まだ何を輸出できるかは検討中だった。一部中国の事情に詳しい方から「ペットボトル、水産加工品など」昨年中国を訪問し中国側が何を求めているか。吉林省長春市から木材のオファーがあった。

その後、勉強会は「留萌港からの木材輸出」を目的とする会に特化。

#### ◆留萌管内の森林の現況

国有林・道有林・民有林（市町村・企業・個人）

##### ○留萌管内のとど松の状況

樹齢20～60年—利用可能(直径14cm～30cm)  
—500万m<sup>3</sup>以上、毎年3万m<sup>3</sup>生産

##### ○品質（A・B・C材）の販路

A材—上川北部（旭川の家具材料）

B材—宗谷（合板工場に移出）

C材—宗谷（敷材としておがくず・チップ材）

上川・宗谷へはトラック輸送、わずかだが留萌港から秋田、島根に搬出。B・C材の販路拡大が課題。

留萌管内では非常に大量のとど松がある—利用率が低いとど松にターゲットを絞って留萌港からの木材輸出戦略に特化。

#### ◆中国への輸出に向けた課題

- 1 留萌港からどこの港に向かうか—帰り荷のないロシア船の利用が可能か。
- 2 通関手続きなどはどのようになるか。
- 3 代金回収などの業務はどこで行うか。
- 2 薫蒸はどのように行くと許可がでるか。
- 3 安定的に輸出できるだけの木材はあるのか。



か。

#### ◆韓国への輸出に向けて

ある商社（住友林業F S）から韓国への輸出ならハードルが低いとの話

- 商社が仲介をする—リスクがない
- 薫蒸が不要
- 材料の長さは3.65m—中国は4m

試行的に韓国への輸出の提案あり—実現

○輸出材の材質、価格、安定的な輸出量を評価・検証の結果、材質は全く問題がない。

価格—9～10,000円程度(運賃別)—合意の可能性。条件を整えば本格的に輸出を目指す。まずは春に第1段の輸出に向けて動き出す。

将来—バルク船1艘分(2500m<sup>3</sup>)の運搬—年2～3回の輸出が目標。

○韓国への輸出実績（とど松）

昨年から実績あり—函館港より1,900m<sup>3</sup>

#### 今後の展望について

○留萌としての検討項目

安定的なとど松の確保—国有林・道有林・民有林の共同出荷など。

安定的な材質の確保—留萌管内共通の材質選別基準の作成

伐採地から留萌港への木材集荷体制の検討

留萌流域森林・林業活性化協議会（会長：森苔前町長）

留萌材の販路拡大のための実行計画（H25～

## 第27回 1月22日(水) 天候/曇

5年間)

分科会：留萌材の輸出戦略が今年のテーマ

当面は原木の輸出で実績作り

将来は製材工場の設立・誘致一雇用の確保

輸出ルートの確立一ルートがあれば物は動く

一他の製品の輸出

□昨年6月から道議会の建設委員長

6月から4回上京一道内選出国會議員、国土交通省北海道局を訪問

- 高規格幹線道路網の整備一認可取り消し区間

- 除雪費、道路維持管理費の増額

- 大規模建築物の耐震診断が義務化一H27末まで

北海道開発予算は増額4853億円

□自民党道連の政調会長代理

今日から道予算の説明あり一協議一予算の修正を求める

地域政策推進費一2千万円の増額一選振興局長の裁量で使えるお金

### 2013～2014年度 情報集会開催

= 情報集会テーマ =

1. 一般会計と特別会計の一元管理について
2. クラブに入会して良かったこと
3. 現状のクラブの問題点

#### 【グループ】

**第1班** 西谷(英)リーダー 堀サブリーダー

平井会員、中川会員、関野会員、対馬会員、遠藤会員、西谷(恭)会員、梁川会員、佐々木会員、燕会員

**第2班** 鈴木リーダー 鶴城サブリーダー

渡部会員、清水会員、中出会員、山本会員、大嶋会員、串橋会員、高橋会員、長谷川会員

**第3班** 森(幹)リーダー 福士サブリーダー

高田会員、佐藤会員、行徳会員、明澤会員、森(俊)会員、久木会員、古野会員、工藤会員

**第4班** 二ノ宮リーダー 阿部サブリーダー

田中会員、齋藤会員、原田会員、渡邊会員、角会員、宮尾会員、辻本会員、松村会員